

彦名通信



COMMUNICATION MAGAZINE NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), YONAGO COLLEGE



表彰式



さジアstroパークの望遠鏡に取り付けられた分光器

Index

卒業・修了特集

5年機械工学科	2
5年電気情報工学科	3
5年電子制御工学科	4
5年物質工学科	5
5年建築学科	6
専攻科	7

求人・進路状況	8
資格試験合格者	9
進路研究セミナー開催報告・球技大会	10

課外活動等報告

学生表彰・スポーツ協会表彰	11
各種大会成績	11~12
デザコン構造部門 6連覇・参加	13
国際交流・2年特活LHR	14
卒業生は今 (Vol. 31)	15

としょぶらり	16
--------	----



卒業研究発表を終えて

卒業生へのメッセージ

5M担任 山口 顕 司

5Mの皆さん、ご卒業おめでとうございます。4年次から担任を受け持たせていただきましたが、明るく楽しいクラスでした。さて、これからそれぞれが選ばれた進路に向かわれる皆さんに「幸福は状況ではなく、選択である」という言葉を贈ります。これから先、様々なことに直面して挫けそうになったときに支えとなるのは、自分で考えて自分で選んだということに尽きると思います。人の言葉に耳を傾けることも大切ですが、最後に責任を持って選択するのは自分であるということをお忘れなければ何にでも立ち向かえるはずですよ。

卒業されてからも気軽に母校を訪ねて、近況などをお知らせ下さい。皆さんの前途に幸多かれとお祈り申し上げます。

5年間を振り返って

5M 後藤 智 宏

5年間を振り返ると、米子高専で学んだこと、米子高専を進学先に選んだことを心から良かったと思っています。入学当初は、授業の難易度や課題の多さにかんがりの不安を抱いていましたが、それらが私たちに大きく成長させてくれました。私が高専に1番感謝していることは、学校推薦で国立大学に進学できたことです。高専で身につけた知識、技術は何ものにも代え難い大切なものです。また、私たちのクラスは団結力があり、体育祭、球技大会などは本気で取り組み、仲間を応援しました。テストでは、クラス内で教え合う雰囲気があり、仲間を大切にするととても温かいクラスです。仲間や先生、環境にも恵まれ充実した学生生活を送ることができたことに心から感謝しています。ありがとうございました。

5年間を振り返って

5M 森 脇 渚

まず結論から申しますと、私は高専に入学して本当によかったと思います。いい友達や先輩、後輩に出会い、いろんな経験ができたからです。

入学当初は、同じ中学校の友達がいなかったのも、誰に話しかけようかとかいろいろなことを考えていました。幸い、私は寮に入ったので、寮の同級生とはすぐに仲良くなれました。

1、2年生の頃は寮の先輩が厳しくて、みんな先輩に怒られないように必死に生きていました。でも、今考えればそのおかげで寮生の絆が深まったと思います。そんなこんなで3年生になり、仲のいい友達は寮をやめていき、私は1人になりました。

この文章のように、私の5年間というのはあっという間でした。いろいろなことがありましたが、どの瞬間もかけがえのない大切なものになりました。ありがとう。



教室にて



教室にて



図書館のロビーにて

Z(ゼット)世代の卒業生に贈る「おめでとう！」

卒業する皆様へ、まずは“おめでとう！”の言葉を贈ります。授業も少なく会話もマスク越しが多いため、なかなか顔を覚えられず申し訳ありませんでした。今から40年前の卒業生は「新人類」と呼ばれ、従来とは異なった感性や価値観、行動規範を持っていると評されました。今は「Z世代」と言われています。自身の価値観を大切に、だれかとのつながりを求め、強い承認欲求を持ち直感的・直観的なものを好む傾向にあるともいわれています。人は生まれた年代や社会背景によって、心理学・統計学的にもある程度特徴が似通う傾向にあると考えます。卒業しても高専や旧友とのつながりと、周囲への感謝の心を忘れずに！「電気があれば何でもできる！」です。

5E 担任 松本正己

高専生からエンジニアへ

高専生活では、C言語やPython、HTMLなどのプログラミング言語を学びました。初めて書いたコードが動いたあの感動、バグに悩まされながらも解決策を見つけ出した喜び、それらが今の私を形成しています。学んだ技術はただのツールではなく、自分の思考を形にする手段です。これからは、これまで学んだプログラミングの知識を活かし、新しい価値を生み出すエンジニアとして活躍したいと思います。

5E 和田 滯 耶



高専生活を振り返って

高専で過ごした5年間は、初めて経験することも多く、刺激的で楽しい時間でした。特に記憶に残っているのは、2年時に参加したロボコンです。全国大会に進出できたときの嬉しさは今も鮮明に覚えています。高専に来たからこそこのような経験ができたため、高専に来て本当によかったと思います。テスト勉強やレポートで苦労したこともありましたが、今では良い思い出です。このような充実した5年間を送れたのも、両親や先生方、友人たちの支えがあったためです。本当にありがとうございました。卒業後は大学に進学しますが、高専で学んだことを活かせるよう頑張ります。

5E 渡邊 天 翔



高専祭 2023 秋



球技大会 2023 冬



卒研究発表会後の集合写真

5D 担任 中山 繁生

皆さん、ご卒業おめでとうございます。入学から卒業までの間に様々な経験をしたと思いますが、特に今年度は、就職・進学活動や卒業研究などで充実した1年間だったと思います。4月からはそれぞれの進路に進んでいきますが、不安を感じていない人はまずいないと思います。皆さんはこの学校で、学力だけではなく、クラスや課外活動を通じてコミュニケーション力を身に付けました。また卒業研究発表会では全員が堂々とした発表をすることができました。どうかこの先も自信を持って、米子高専の卒業生として胸を張って活躍されることを期待しています。

最後になりましたが、これまで卒業生を支えてこられた保護者の皆様には、本校の教育に対してご理解とご協力を賜り、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。



5D 橋本 恭輔

思い返すと、ついこの前入学したような気がします。5年も経ったのかと思うと少し寂しいような、やりきったような思いが湧いてきます。球技大会で下級生相手になんの手加減もなしにボールを投げている友人の姿がとても印象的です。そんな、何事にも全力だったクラスメイトたちに囲まれて、私もいい雰囲気の中過ごすことができました。また、部活動や学生会活動を通して出会うことのできた先輩や後輩のおかげで辛い日々も楽しく過ごすことができました。特に、学生会活動は大変なことも多かったですが自分を成長させることができましたと思います。取り柄のない私ですが、たくさんの良い友人や先輩、後輩に囲まれて過ごせたことは運が良かったです。

5D 松下 颯真

この5年間を振り返ると、様々なことがあったように思います。2、3年生の時には新型コロナウイルスの流行により、いろいろなことが制限され、思うように過ごせないこともありました。5年生では卒業研究や就職活動など、初めての慣れない活動に苦労することもありました。しかし、そんな辛い状況でも友人や先生方、家族に支えられ、なんとか乗り越えることができました。この5年間は本当に多くの人々の支えがあったからこそ過ごせたものだと思います。来年からは就職しますが、高専での学びを活かし、周りの人と助け合いながら頑張っていきたいです。5年間、ありがとうございました。



体育祭にて



球技大会にて



卒研発表会（口頭発表後の様子）

5C 榎間 由幸

ご卒業おめでとうございます。これまでの努力と成長を讃えます。未来に向かって、自信を持ち、そして夢に向かって進んでください。どんな困難もうまく乗り越え、素晴らしい成功を取めてくれることを信じています。仲間を大切に果敢に挑戦して、悔いのない人生を歩んでください。おめでとう、頑張ってください。

5C 野坂 彩乃

短いようで長い5年間でした。化学が得意で入学したつもりでしたが、本格的な専門分野を学ぶにつれて自分は化学が得意ではなかったことに気が付きました。一夜漬けで乗り越えた定期テスト、怒涛のレポート課題、なかなかまとまらない高専祭、そして集大成となる卒業研究。高専生活の厳しさにときに神経をすり減らしながらも、ここまで乗り越えてこられたのはクラスのみんな、先生方の支えがあったからだ実感しています。これからは社会人として新たな環境へと踏み出していきますが、とても楽しみでたまりません。こう思えるのも5年間の高専生活が充実していたからだと思います。本当に5年間ありがとうございました。

5C 梅津 恒世

私にとって、高専生活は長いようであっという間の5年間でした。まず勉学、勉強＝暗記だけではなく、高専では自分の興味関心と目標が必要になり、本当の意味での「学び」と「知識」というものを教わったように思います。そして対人関係では、様々な価値観をもつ人たちとの出会いを通して多くの刺激を受けました。また、クラス・寮・部活などで沢山のひとと楽しい時間を共有した思い出が蘇ってきます。

卒業後は、自分は新たな分野、場所で大学生生活をスタートしていきます。とりあえず留年しないように頑張ります（笑）。そして、社会人になったらしっかりと社会に貢献します。



球技大会の様子



高専祭でのクラス展示の様子



卒研究発表会後の集合写真

5A担任 北農幸生

5年生のみなさん、卒業おめでとうございます。本来であれば楽しい行事が予定されていた2年生から4年生の間を、コロナの影響で制約のある生活を強いられました。そうした中でも新たなことにチャレンジし成長していく皆さんの姿に心打たれました。5年生となり、やっとで本来の高専祭体育の部・文化の部などの学校行事が通常の形で開催できるようになり、私もみなさんとの楽しい思い出を作ることが出来ました。2年、4年で担任をされていた天野先生からこのクラスを引き継ぎ、天野先生がみなさんを思う気持ちに負けないように、私もクラスに関わり一緒に楽しませてもらいました。4月からそれぞれ新しい道へ進みますが、新たな環境の中から刺激を受け、楽しみ、成長して行ってほしいと思います。



5A 宮本 滯

頑張った良かったと思える高専生活でした。たくさん勉強したり、初めての経験をしたり、自分自身の成長の過程がここに詰まっています。特に5年生では研究を進めるにあたって、大きな壁に何度もぶつかり、先が見えず辛くなったこともありましたが、研究室の先生に助言をいただきながら考えることを諦めず、最後までやり切ることができました。

そして、学びだけでなく高専での出会いが私の宝物です。友だち、先輩、後輩、先生、地域の方々、皆さんに感謝を伝えたいです。どんな時も私を支えてくれた家族の存在も大きかったです。皆さんとの出会いを糧に、これからも一生懸命学んで、将来、身についたものを社会のために役立てていきたいです。

5A 鐵本 怜士真

奇跡の合格から早5年。鴨川中学校を飛び立ち、初めての環境で戸惑うことばかりでしたが、なんとか卒業することが出来ました。厳しい寮生活やテスト勉強、無理難題の製図課題に体調を崩してしまったこともありましたが、体育祭や高専祭、卒業研究など学生にしか出来ないことを全力で楽しめたと思います。今年は特に「ハーフマラソン」や「コスプレ」などやりたいことを悔いなく出来た年になりました。最後に、みんなは高専嫌いってよく言うけど、私は高専大好きです。こんな私を採ってここまで育ててくれた高専や先生方、クラスのみんな、先輩方や後輩、そして家族には本当に感謝しています。社会に出て玉井先生の「嘘を言わない、繕わない」という言葉を胸に、米子高専の名に恥じぬよう欲張って全力で頑張ります。



研究室の様子



玉井研究室ゼミ旅行 端島（軍艦島）にて



集合写真

◆修了生へのメッセージ

専攻科長 小川 和郎

みなさん、専攻科修了おめでとうございます。2023年5月8日、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類へ移行し、長く苦しかった自粛生活から解放されつつあります。堰を切ったように様々な催し物や行事などが再開され、コロナ禍前の日常が取り戻されました。専攻科が最後の学生生活になる学生も多いと思いますが、学会発表や旅行、学校・研究室行事への参加など、最後の1年間で少し満喫できたのではないのでしょうか。学生生活で得た友達や、7年間の高専生活で培った経験は何よりも貴重な財産です。いつまでも大切にしてください。

4月からは新しい生活が始まります。高専生活の最後の1年間は最高学年でしたが、4月からは新人です。心機一転、初心にかえて新しいことにチャレンジして下さい。失敗を恐れていたなら、何もできませんよ。社会は、常にスキルをアップデートする人や、新たな分野のスキルを身に付けられるように自ら学び続ける人を求めています。ただし、ときには休息を挟みながらマイペースでいきましょう。

物質工学専攻2年 八尾 颯斗

小学校よりも長い7年間の高専生活は長いようであつという間に感じました。振り返ってみると、勉強や部活動、研究など忙しい日々ではありましたが、とても充実していました。特に研究では多数の学会発表を経験させていただき、最も成長につながりました。卒業後は大学院に進学するため、高専で得た知識・経験を活かしつつ、さらなる成長を遂げるため努力していきたいと思います。支えてくださった皆さん、7年間本当にありがとうございました。



機関研オールスターズ

最高の7年間と陸上人生

生産システム工学専攻2年 妹原 七虹

高専、M科、陸上競技部、専攻科、すべて最高の選択だったと言えるくらいに楽しく濃い7年間でした。家族、先生方、友人、私に関わってくださった皆様のお力添えがあってこそ得られたものです。心より感謝申し上げます。私は幸運にも希望企業に内定をいただき、春からは大好きで思い出深い陸上競技に仕事で関わることができます。生まれ育った米子を離れるのは寂しいですが、高専での学びを活かして精一杯頑張ります。



7年間で1番の思い出

建築学専攻2年 河津 佑亮

本科生の時は常に設計課題に追われていて休む暇がない5年間でしたが、専攻科での生活は多くの時間をかけて様々なことに挑戦できた充実した2年間でした。7年間の高専生活では専門分野に関する学習のみならず部活動やゼミ活動に自主的に参加してきたことで人間的にも成長できたように感じます。卒業後も高専生活で学んだ教訓を忘れず貪欲に挑戦していきたいです。7年間指導してくださった先生方、支えてくれた友人、ありがとうございました。



特研究発表会を終えて

令和5年度求人・進路状況について

進路の多様化と就職活動の早期活性化

5年学年主任 松本正己

新型コロナウイルスが今年度の5月から5類感染症となり、リモートあり対面の復活ありのハイブリッドな就活・進学活動が展開された。M科は進学が40%と高まりを見せ、E科やD科の進学率は従来と変わらず30%程で推移し、電力・インフラ系から情報通信系まで幅広く多様な分野へ進路を決めている。C科は採用が活発な製薬・食品、化学メーカー等への就職増、A科では従来進路に加え、維持管理系希望者の増加などが'24卒学生の傾向である。総じて、企業の大規模な求人意欲の増加を背景に「進路の多様化」が見て取れる。'25卒生については「活動の早期化」が顕著であるが、焦ることなく自らの能力を発揮できる進路を選択されることを願っている。



「米子高専生のための進路研究セミナー」の様子

専攻科

専攻科長 小川和郎

専攻科修了生の獲得を目指す企業は依然として多く、今年度も専攻科全体で2,600人を超える求人数がありました。これを求人倍率にすると160倍を超えますが、大学卒の求人倍率が1.7倍であることを踏まえると、この数字がいかに驚異的であるかがわかります。とはいえ、十分な対策を講じる必要があります。

進学者数は年によって変動しますが、今年度は6名の学生が大学院へ進学します。本校専攻科はいくつかの大学院と入試に関する協定を締結しており、推薦による進学も可能です。自身のキャリア設計を早め立て、万全を期して臨んでください。

本科の求人・進学状況（令和6年1月末日現在）

学 科	卒業予定数	就職希望者数	就職内定者数	求人件数	進学希望者数	大学決定者数	本校専攻科 進学決定者数	その他学校 進学決定者数
M	41	23	22	701	18	13	4	
E	39	27	27	731	12	5	7	
D	41	30	29	709	11	9	2	
C	41	26	26	435	15	12	3	
A	35	27	23	438	7	3	4	
合 計	197	133	127	3,014	63	42	20	0

専攻科の求人・進学状況（令和6年1月末日現在）

専 攻	修了予定者数	就職希望者数	就職内定者数	本年度求人件数	進学希望者数	進学決定者数
生産システム工学専攻	13	9	9	1,901	4	3
C 専 攻	5	2	2	387	3	3
A 専 攻	5	5	5	387		
合 計	23	16	16	2,675	7	6

令和5年度資格試験合格者（R6.2.11現在）

資格名	取得者							
	取得者数	内訳						
TOEIC (800点～)	4名	4年生 3名	5年生 1名					
TOEIC (750～799点)	1名	3年生 1名						
TOEIC (700～749点)	3名	1年生 1名	2年生 1名	4年生 1名				
TOEIC (600～699点)	8名	4年生 3名	5年生 3名	S1生 2名				
TOEIC (500～599点)	8名	2年生 1名	4年生 6名	5年生 1名				
TOEIC (400～499点)	25名	1年生 2名	2年生 2名	3年生 1名	4年生 13名	5年生 3名	S1生 2名	S2生 2名
実用英語検定 準1級								
実用英語検定 2級								
実用英語検定 準2級	2名	1年生 2名						
実用英語検定 3級	1名	1年生 1名						
実用数学技能 検定 準1級								
実用数学技能 検定 準2級	1名	2年生 1名						
実用数学技能 検定 2級	2名	5年生 1名	3年生 1名					
危険物取扱者 乙種	4C 門永 海星							
第二種電気工 事士	3E 小暮 芙郁	3E 渡部 夏希						
二級ボイラー 技士	3E 本城 拓人	5A 鐵本 怜士真						
応用情報技術 者	2-5 (J) 西山 颯							
基本情報技術 者	1-1 山名有希人	2-5 (J) 西山 颯	3E 井東 佳希					
日商簿記検 定三級	5C 小林 絢音							

「米子高専生のための進路研究セミナー」開催報告

キャリア支援室長 松岡 祐介

米子高専では、令和5年12月23日（土）に「米子高専生のための進路研究セミナー」を開催しました。令和5年度の求人倍率は本科で約23倍、専攻科で160倍越えという企業の高い求人意欲を受けております。出展は企業約220社、17の大学および大学院、地元自治体3団体での実施となりました。荒天だったにもかかわらず本校の本科3・4年生、専攻科進学予定の5年生、専攻科1年生の約440名を対象としたほか、本科1・2年生および保護者の希望者も参加しました。

新型コロナウイルス感染症の影響によるオンライン実施などで、ここ3年間は対面での実施が出来ませんでした。今回は久々の対面での実施となり、学生にとってはより良い体験、貴重な経験になったのではないかと考えております。

参加企業については大都市圏の企業だけでなく、学生の地元定着を図るべく米子高専を支援する地元企業等の団体である米子高専 振興協会会員企業様78社に参加いただきました。

参加した学生達からは、「いろいろな企業のお話が聞けて面白かった」、「直接対面で質問できて良かった」などの感想が寄せられました。

なお荒天の影響でいくつかの出展者が欠席となりましたが、後日オンデマンドサイトでの代替措置を行いました。この「米子高専生のための進路研究セミナー」は、学生へのキャリア教育に大切な役割を果たすものであり、今後も継続して開催して参ります。



民間企業や地元自治体ブースでの説明の様子

球技大会

学生会体育局副局长 3C 渡邊 和哉

2023年12月19日に球技大会が行われました。今年はバスケ、バレー、ドッジボール、バドミントン、ボッチャの5競技をクラス対抗で競い合い獲得したポイントで順位を決めました。学生会の3年生が主体となって行事を行うのは初めてのことで、当日まで様々なトラブルやアクシデントがありましたが、先輩方や先生がサポートをしてくださり、無事成功させることができました。

私はバレーの会場で各クラスの試合を観戦していました。みんなが全力で競技を楽しんだり、励ましあったり、喜びを分かち合ったりしている姿を見てとても嬉しかったです。約1か月前から準備をしていたのでみんなが楽しんでいる姿を見て企画・運営という仕事にやりがいを感じました。これからも高専生活の中で思い出に残るような行事ができるように努力していこうと思いました。



バレーボールの様子



バスケットボールの様子

伊藤園お〜いお茶新俳句大賞で2年連続入賞

教養教育部門 羽原 卓也

今年度、192万句余の応募があった第34回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞で、現在Jコース3年の渡邊祥大さん(応募時2年生)の句「それぞれに風吹くあたり桜桃忌」が都道府県賞に選ばれました。都道府県賞は各県から5句が選出されるもので、本校としては昨年度の山本さん(現4M)に続き2年連続となりました。ほか、現3Jの井田耀葉さん・現3Eの小西正悟さんが佳作を受賞し、学校としても団体応募賞を受けました。今後も俳句を通して、日頃の生活・言語活動を振り返ることに役立ててもらえたらと思います。



賞状と副賞を掲げる入賞者(左から井田さん・渡邊さん・小西さん)

令和5年度学生表彰

—優秀賞(在学中顕著な成績を修め、優秀な賞を複数回受賞した者)—

学業優秀	5 M	松尾 空知	日本機械学会 島山賞
学業優秀	5 E	渡邊 天翔	電気・情報関連学会 中国支部賞
学業優秀	5 D	加藤 崇	電気・情報関連学会 中国支部賞
学業優秀	5 C	上原 弓葉	日本化学会 中国四国支部 支部長賞
学業優秀	5 A	宮本 滯	日本建築学会 中国支部 優秀卒業生
学業優秀	S 2	衣笠 廉人	日本化学会 中国四国支部 支部長賞
学業優秀	S 2	角田 元春	空気調和・衛生工学会 学生賞
課外活動等	5 M	石田 怜央	第53回全国高等専門学校体育大会 卓球競技 男子団体
課外活動等	5 C	奥田 結衣	全米高校映画祭 AAHSFF2021
〃	5 C	山崎 晴日	〃
課外活動等	5 C	野田 悠成	第30回全国高等専門学校将棋大会 団体戦
課外活動等	S 2	小島 翼	第13回 CSJ 化学フェスタ
			第35回先端技術大賞

—米子商工会議所会頭賞—

5 M 平田 琉稀	5 E 松村 有紀	5 D 橋本 恭輔	5 C 奥田 結衣	5 A 鐵本 怜士真
S 2 加藤 誠	生産システム工学専攻	S 2 八尾 颯斗	物質工学専攻	S 2 洞崎 翔人
				建築学専攻

令和5年度 スポーツ協会・教育委員会表彰

【鳥取県スポーツ協会】					
卓球部	4 C	土江亜依美	スポーツ奨励賞(個人)	1-1	石田 皇翔
	2-1(E)	常松 世名	〃	卓球部	女子
					スポーツ奨励賞(団体)
【米子市スポーツ協会】					
陸上競技部	5 D	安田 倫	スポーツ奨励賞(個人)	水泳部	男子
	5 M	高倉 幸大	〃		2-5(J)
	4 D	川島 和流	〃		1-2
バレーボール部		男子	スポーツ奨励賞(団体)		西山 颯
バスケットボール部		男子	〃		梶村 涼太
卓球部		女子	スポーツ賞(団体)	テニス部	5 A
		男子	スポーツ奨励賞(団体)		2-3(C)
	4 C	土江亜依美	スポーツ賞(個人)		1-1
	2-1(E)	常松 世名	〃	バドミントン部	1-2
	1-1	石田 皇翔	〃		山崎 詩子
剣道部		女子	スポーツ奨励賞(団体)		男子
	4 E	三浦 真歩	スポーツ奨励賞(個人)		2-1(M)
水泳部		女子	スポーツ奨励賞(団体)		2-2(E)
					元岡 祐輔
					桑本 航太郎
【鳥取県高等学校体育連盟表彰】					
卓球部		女子	スポーツ賞(団体)	水泳部	女子
	2-1(E)	常松 世名	スポーツ賞(個人)		2-5(J)
	1-1	石田 皇翔	〃		1-2
					西山 颯
					梶村 涼太
					1-2
					森 映太
【境港市スポーツ協会】					
空手道部	1-1	石倉 羽陽	スポーツ奨励賞(個人)		
【伯耆町教育委員会表彰】					
バスケットボール部	4 C	山根 巧嵩	スポーツ優秀賞	放送部	2-4(A)
					葉狩 羽流
					芸術文化大賞

JSEC2023 でソニー賞受賞!そして ISEF2024 へ!

3M 吉田 浩 瑛、2-5 (C) 前田 孝太郎、1-3 鐘 築 昇太郎

私達科学部は、12月9日(土)・10日(日)に東京都江東区にある日本科学未来館で開催された、朝日新聞社主催の第21回高校生・高専生科学技術チャレンジ(JSEC2023)の最終審査会に参加しました。今年のJSECの応募数は過去最多の343件にのぼり、去年と変わりZoomから対面での発表となったので、画面越しとは違う緊張感がありました。私達の研究のテーマは「日本の公開天文台の標準機を目指した次世代型天体観測用分光器の開発」です。発表会はポスター形式で、審査員や企業の技術者の方から鋭いご指摘・ご質問をいただき、必死に対応していましたが、その甲斐あってソニー賞を受賞することができました(図1)。そして、授賞式後の懇親会ではソニーの技術者の方々と交流を行い、楽しいひと時を送りました(図2)。また、最終審査会では非常に興味深い研究を発表する高校が多数あり、他校の生徒の皆さんと交流することもできました。今回受賞した賞は5月にアメリカのロサンゼルスで開催される国際学生科学技術フェア(ISEF2024)への切符でもあります。私達を含めて、最終審査会に勝ち残った10校が参加します。私達はJSECで得た経験を糧にISEFでも結果を残せるように精進していきます。



図1 ソニー賞受賞の瞬間



図2 ソニーの技術者の方々との懇親会

【放送部】「高校生のための eiga worldcup2023」 2年連続最優秀作品賞受賞!

放送部・1-1 上阪 彩子



〈大会成績〉

最優秀作品賞:「ちあきの変拍子」

最優秀女子演技賞:上阪彩子/最優秀監督賞:白岩周也・福留莉玖

優秀編集賞:福留莉玖・森灘結/優秀撮影賞:福留莉玖・高見航生・富谷彩愛 他

12月に行われた「高校生のための eiga worldcup2023」にて、米子高専放送部の制作した中編映画「ちあきの変拍子」が、最優秀作品賞とその他4つの賞を授賞しました。大変光栄なことに、最優秀作品賞の授賞は前大会に続いて2年連続、通算5回目となります。また、私共は同年7月に行われたNHK杯全国高校放送コンテスト創作テレビドラマ部門で初の優勝を果たしており、その興奮も冷めやらぬうちの出来事ということで部員一同歓喜しております。

本作品「ちあきの変拍子」は、真面目で何事も我慢してしまいがちな女子高生が主人公です。彼女は自身の願望が作り出した「イマジナリーフレンド」に翻弄されてしまうのですが、それをきっかけに彼女の心境や彼女を取り巻く環境が徐々に変化していきます。本編映像は大会ホームページ(<https://www.eigakoushien.com/>)にて公開されておりますので是非ご覧ください。監督、脚本、撮影、編集、作曲、演技等、全て学生の力で行いました。作品は、2024年10月にニューヨークで開催される全米高校映画祭(AAHSFF)に日本代表として参加予定です。

今後も支援して下さる皆様への感謝の気持ちを忘れず、更なる高みを目指して作品制作に取り組んで参りますので、私共の活動を温かく見守っていただけると幸いです。



「ちあきの変拍子」撮影風景



eiga worldcup 表彰式@明治学院大学にて

デザコン 2023 in 舞鶴 構造部門 6 連覇・参加

4 A 小澤 航輝

今年度のデザコンは、京都府舞鶴市で開催されました。構造デザイン部門では、紙を使って、40kgの固定荷重と衝撃荷重に耐える橋を作るという課題でした。さらに、分割できるようにし、載荷直前に組み立てるという条件もあり、非常に難しいものでした。何度も作り直し、実験を繰り返しました。その度に壊れた原因を分析し、少しずつ改善を積み重ねていきました。強さと軽さのバランス、湿気の対策、組み立て時の歪みなど苦労したことは数多くありました。しかし、次第に綺麗に作れるようになり、記録が向上していく過程は非常に楽しかったです。地道に追求し続けた結果、最優秀賞を獲得できたことは素晴らしい経験でした。私は設計を担当しましたが、さらにリーダーも務めることになり、初めは不安を感じていました。先輩や先生にサポートしていただき、的確な助言を頂けたことは非常に心強かったです。製図、テスト、高専祭準備などで忙しい日々でしたが、メンバーで協力し合って、またその他4Aのみんなの支えもあって乗り越えることができました。感謝しています、ありがとうございました。卒業まで残り一年間が充実したものになるよう、楽しみながら頑張りたいと思います。



載荷競技前の円陣



載荷競技の様子

4 A 瀬戸口 健人

僕達畑中研究室はデザコン参加2回目かつ、スタートメンバー2人という状態から始まりました。残りのメンバーが本格的に参加したのも、夏休みが終わったあとからで、そのうち3人は計画系の研究室の所属でした。橋を作っている間は何度も作り直し、そのたび壊れ7時頃まで学校に残って作業することもたくさんありました。ですが、メンバーと話をしながら、改善を繰り返す作業はきつくもあつたけど楽しい空間でした。また、メンバーとより仲を深められたと思います。今回のデザコンで身についたことは、挑戦することの大切さです。僕自身も最初の方は「夏休みなのに学校来て橋作りなんて…」と思っていました。しかし今になって「あのときもっと残って作業しておけば」という後悔の感情が変わっています。これは大会で悔しい思いをしたからというのがありますが、あのとき作業をしていればこの載荷を耐えただろうと思えるからだと思います。実験は繰り返すだけ改善されて、良い結果になっていきます。なので、まず挑戦してみしてほしいと思います。最初は全然ダメだと思いますが、そんなときこそ先輩、先生を頼ってみてほしいです。また最初に話したように、僕達のチームは半分が計画系の研究室です。なので、デザインに興味があるという人でも、3年生以下でもぜひデザコンに参加してほしいと思います。来年以降も最優秀賞の座に米子高専がいることを願っています。



模型製作の様子



集合写真



集合写真(全員)

国際交流

国際交流支援室長 大野 政 人

11月に海外協定校であるマレーシアのパハン大学から本校留学生OBのファイズ先生をお招きし、1年生を対象に、英語による物理の授業を実施しました。少し前に習った「放物運動」を英語で復習する内容でしたが、どうだったでしょうか？日本語で内容を理解できなければ英語でもわからないと思います。これは物理に限ったことではありません。また「わからなければ質問する」という姿勢も大切です。授業の最後に行った「ファイズ先生に対する何でも質問コーナー」では、多くの学生が英語で積極的に質問してくれました。ファイズ先生も学生時代はそうにして日本語を身につけたと思います。もっと英語を話せるようになりたいと思った人はEnglish café(放課後)、オンライン英会話(DMM)、海外派遣プログラム(マレーシア研修等)など、英語を使って交流する機会をいろいろ設けていますので、来年度もぜひ積極的に参加して下さい！



英語使用授業の様子

【学生の感想(抜粋)】

- ・貴重な体験ができて嬉しかったです。もっとファイズ先生と話したいなと思いました。(Sさん)
- ・楽しかったです。質問した時はすごく緊張したけど、ちゃんと答えてくださったので安心しました。(Iさん)
- ・英語を勉強していると何のために勉強しているかわからなくなるけど、英語で他の科目を学ぶと嫌でも英語を使おうとするので、英語を学ぶ目標や目的ができて良いと思いました。(Kさん)

学生主体！2年特活委員による合同LHR

2-5 (E) 高見 航 生

1月12日金曜日、2年生の特活委員主体による学年合同LHR、「ドッジボール&ドッジビー大会」を実施しました。この企画は、私たち2年各組の特活委員が発案の段階から携わり、各組の担任の先生方からもご賛同をいただき、学生主体という形で準備、運営に当たりました。本格的に各コースに配属され、コースごとの交流も減ると考えられる直前のこのタイミングで、同じ学年のみんなで盛り上がりたいたい！という思いのもと、特活委員を中心に準備を進めました。この企画の前半では、2年生全体を6つのチームに分け、分かれたチームによる試合が繰り広げられました。そして後半では、およそ100人対100人による試合が繰り広げられ、複数のドッジボール、ドッジビーが錯綜し、混沌を極める中ではありましたが、その盛り上がりは絶大でした。この企画の準備を進めていく段階では、「この企画に賛同してもらえるだろうか」といった不安が常についてまわり、何度も変更を加えるなど、準備は決して容易ではありませんでしたが、様々な面で支えてくださった担任の先生方、各組の特活委員、そしてこの企画に参加してくれたみんなのおかげでこの企画を成功に導くことができました。



100人対100人のドッジボール



200人で準備体操を行う様子



東北大学流体科学研究所 量子ナノ流動システム研究分野 上根直也

2016年3月 米子工業高等専門学校 機械工学科 卒業
 2018年3月 米子工業高等専門学校 専攻科 生産システム工学専攻 修了
 2023年3月 東北大学大学院工学研究科 ファインメカニクス専攻 博士後期課程 修了
 2023年4月 東北大学流体科学研究所 入所
 現在に至る

機械工学が拓く世界最先端半導体技術と大学教員という仕事

■専攻科から東北大へ

本科時代を振り返ると、3年生までは勉強はそこそこに、ハンドボール部の活動に多くの時間を費やしていたように思います。厳しくも鍛えてくださった先輩、切磋琢磨した同輩、同じ目標に共に向かって努力を重ねた後輩が居てくれたお陰で全国高専大会3位という成績を収めることが出来ました。4年生では専門科目も本格スタートし、私は空気や水が流れることを取り扱う流体力学という学問に興味を持ち、早水先生の研究室に配属となりました。大学進学も考えましたが、当時の研究を継続したいという思いもあり、専攻科に進学。その後、東北大学大学院に進学しました。

■最先端の半導体研究との出会い

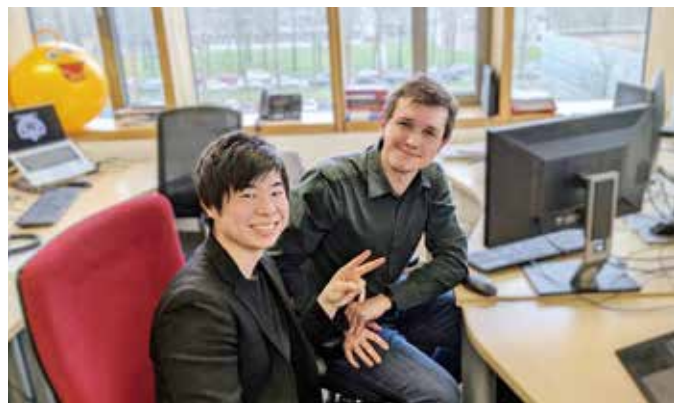
大学院進学後は最先端半導体に関する研究を開始しました。流体力学から半導体というのは全く関係がないように思えますが、実は密接に関係しています。皆さんは半導体がどうやってできるか知っていますか？実は半導体の製造工程はピザ作りによく似ています。まず土台となる生地を敷いて、その上にトマトペーストを塗り、ベーコンやチーズなどの具材を上からかけて、焼き上げることで層構造が出来上がります。この“土台の上に具材をかけて焼き上げる”という工程が半導体製造における成膜工程にあたります。どんな具材を使うか？どれくらいの量か？何度で焼くか？によってピザの仕上がり具合は全く違ってきます。私はナノスケールで分子（具材）が気相（空中）と表面（生地上）でどのように動いたら（流れたら）良い半導体が成膜出来るかを分子動力学法という手法を用いて解析する研究を行っています。

■大学院での経験と大学教員という職業

修士と博士の5年間で様々な経験をしましたが、特筆すべきは3度の海外留学でしょうか。私はフランス、アメリカ、オランダに数ヶ月単位で滞在することで、世界トップレベルの研究機関で著名な研究者の方々から学び、研鑽を磨く機会に恵まれました。彼らと日々研究について議論し、同僚と週末のパーティーで互いの文化について語る中で真の国際的研究者としての基礎を築くことが出来ました。博士号取得後は、そのまま東北大の教員として研究活動や学生指導に取り組んでいます。学生が主体的に研究に打ち込むためのサポート方法を考えることは、単に自身が主体的に研究を進めるのとは違った難しさや面白さがあると感じています。

■後輩の皆さんへ

私も始めはそうでしたが、テスト勉強は頑張るけど、学問そのものに動機を感じにくいという学生の方も多いのではないのでしょうか？そんな皆さんには現在学んでいる学問が社会にどう生かされているか知って欲しいと思います。例えば私達が普段使っているスマホやパソコンには必ず半導体が含まれており、半導体をつくる上で私が学んだ機械工学は重要な役割を果たしています。社会と学問のつながりを知ることを通じて、皆さんのキャリアパスが素晴らしいものになることを先輩として節に願っています。



アイントホーフェン工科大（オランダ）滞在中に同僚と

※記事において、学科等の名称をアルファベットで表記している箇所があります。

M…機械工学科(機械システムコース)、E…電気情報工学科(電気電子コース)、D…電子制御工学科、J…情報システムコース、C…物質工学科(化学・バイオコース)、A…建築学科(建築デザインコース)、G…教養教育部門、S…専攻科
例えば、「2-1 (M)」は2年1組機械システムコースの学生を表しています。

発行：米子高専広報室 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448 TEL: 0859-24-5000 FAX: 0859-24-5009
ホームページ：https://www.yonago-k.ac.jp/ PDF印刷：勝美印刷株式会社



ISSN 1344 - 5634

米子高専図書館報
第119号令和6(2024)年3月 発行
米子工業高等専門学校図書館

「ビブリオバトル」を開催しました。

図書館・リベラルアーツセンターでは、「ビブリオバトル」を、11月14日(火)16時10分から、アカデミックシアターで開催しました。

ビブリオバトルについての説明は、「知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト」やYouTubeの動画などを見てください。

プレゼンの時間を(公式ルール5分より短い)「3分」で行うことにして、出場者(パトラー)を募集しました。4名のエントリーのうち、当日体調不良により参加できなかった学生がいましたが、3名がお気に入りの本について発表をしてくれました。

出場者

学年・クラス	名前(発表順)	紹介図書(著者)
1-1	豊田 彩陽	化物語(西尾維新)
2-3	福住 陽路	大いなる助走(筒井康隆)
3A	遠藤 諒悟	瞬読 見るだけノート(山中恵美子)

図書委員長が司会を務めルール説明や出場者の紹介を行い、副委員長、図書委員がタイムキーパーとしてサポートしました。他の図書委員も参加してくれました。当日は、16名の参加者(出場者・観戦者(学生12名、教職員4名))が集まりました。



出場者のプレゼンの様子



ディスカッションの様子

「ビブリオバトル」を開催しました。

出場者それぞれの本の紹介の後、ディスカッションの時間を取り、参加者からの質問に答えてもらいました。そして、「一番読みたくなった本」を基準に参加者が投票を行いました。投票の結果、「チャンプ本」（最優秀賞）には2-3の福住陽路さんの『大いなる助走』が選ばれました。



出場者のプレゼンの様子



ディスカッションの様子

参加者の感想

- ・同じ本好きの人の推し本の魅力を聞いて楽しかった。
- ・人前での発表は難しいことだが、全員ハキハキと発表していて凄いことだと思いました。
- ・質疑応答でもちゃんと質問する人がいていいことだと思いました。
- ・人が少ないのは気になったけど、発表者の本が好きな気持ちが伝わってきたし、読んでみようと思える本もあったので面白かった。
- ・自分も読んでみたいと思う本が見つかった。来年も参加したいと思った。
- ・みなさんそれぞれの本の魅力についてわかりやすく紹介してくれて、とても興味をそそられました。
- ・少人数でしたがそれぞれの人が楽しそうに本を紹介していてとてもいい雰囲気のビブリオバトルだったと思います。



出場者のプレゼンの様子



ディスカッションの様子

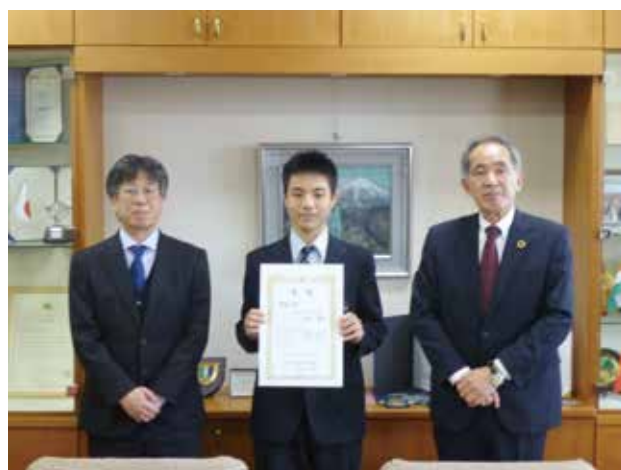
「ビブリオバトル」を開催しました。／図書館からお知らせ

出場者の感想

- ・人前で発表するのは緊張したけど自分の好きな本を語るのは楽しかったし、自分と同じ本好きの好きな本や小説家を知るのは楽しく、おすすめされた本も読んでみたいと思いました。また、数少ない本好きの人と触れ合う機会のあるビブリオバトルは思ってたより良いイベントだなと思いました。(豊田)
- ・今年のビブリオバトルは去年と違って屋内で行われたので、楽な気持ちで発表できました。また、今回は原稿を用意し、何を話すか事前に頭の中で反芻していたのでほとんどよどみなく話すことができました。それもあってか最優秀賞を取ることができ、とても嬉しく思います。今回他のパトラーが紹介された本はどれも手にとって読んでみたくなるような魅力的なものばかりでした。来年のビブリオバトルではどんな面白い本と出会えるのか、今から楽しみです。(福住)
- ・今回のビブリオバトルへの参加は、自分が紹介する本に対して様々な立場や視点から新たな魅力を発掘でき楽しい経験でした。また、パトラーが選んだ本は様々なジャンルにわたり、それぞれにふさわしい魅力の発信方法が考えられており、ビブリオバトルの面白さを実感しました。さらに、会場に足を運んでくださった参加者との質疑応答を通じて、参加者がどの部分に興味を持ち、どのような魅力を感じたのかが参考になりました。(遠藤)



出場者の集合写真



校長室での表彰式

図書館からお知らせ

★交流プラザの机とイスについて

交流プラザの一角に、令和5年度に購入した新しい机とイスがあります。

これらは、自由に使うことができます。(利用の際、職員への声掛けは不要です。)

使いたい学生は、空いたスペースにセッティングしてください。また、使い終わったら、元の場所に戻してください。



図書館業務・活動記録

12月7日(木) ビブリオバトル表彰式(校長室)	2月1日(木)～3月15日(金)
12月1日(金)～26日(火)	春季長期貸し出し(特別貸出)実施
冬季長期貸し出し(特別貸出)実施	2月26日(月)～3月1日(金)
1月24日(水)・25日(木)	図書館運営委員会(第3回)(teams)
臨時休館(荒天による登校禁止のため)	3月 としょぶらりの発行
1月27日(土)・28日(日)・2月3日(土)・	3月 研究報告第59号の発行
4日(日) 学年末試験時の開館	(図書館ホームページに掲載)